

あさくち 議会だより

No. 33

平成29年 3月定例会

平成29年4月1日発行



- 市民と意見交換 議会報告会 ②
- 5年ぶりのマイナス編成 当初予算を可決 ④
- 天文のまち あさくちを全国に 補正予算 ⑥
- 3月定例会主な議案
健康福祉センター 浴場などの使用料値上げ ⑦
- 3党派と議員6人が登壇 市政を問う！一般質問 ... ⑩

28年度議会報告会



テーマ

- ① 政務活動費について
- ② 本庁・支所のあり方について

議会基本条例に基づき、市民の皆様との情報、意見交換を行うため、3会場で開催し、合計70人の市民の皆様にご出席いただきました。

今年度はテーマを絞り、近年社会問題となった「政務活動費」の運用状況についてと、現在執行部で検討されている「本庁・支所のあり方」について現在どのように検討が進められているかを報告しました。

報告の後は、参加者の皆様から市議会に対する貴重なご意見・ご提言をいただきました。

いただいたご意見・ご提言は今後の議会審議や市政への提言の参考とするなど議員活動に活かしてまいります。

市民と意見交換

平成



金光会場



鴨方会場

日時	会場	参加者	出席議員
1月28日(土) 10:00から	寄島会場 寄島公民館	25人	福田 玄 伊澤 誠 佐藤 正人
1月28日(土) 14:00から	金光会場 金光公民館	16人	平田 襄二 桑野 和夫 中西 美治
2月4日(土) 14:00から	鴨方会場 浅口市健康福祉 センター	29人	柚木 毅 大西 恒夫 田口桂一郎 井上 邦男 大西 洋平

主なご意見

政務活動費

- 月3万円で充実した活動ができるのか。
- 第三者機関の監査を受けては。
- 使用額にばらつきがある。本当に36万円も必要なのか。
- 複写機など高額な備品は共有し、金額を抑えては。
- 視察研修に使用した際、研修をどのよう市政に生かすのか、市民に対しフィードバックを。
- 視察研修時の昼食代をなくし、他の部分に充当しては。

本庁・支所のあり方

- コミュニティ支援が本庁に集約されると、地域の特徴を把握した支援が本当にできるのか。地域ごとに具体策を考え支援してほしい。
- 支所の人数を減らすと消防団本部の活動に影響が出る。地域防災の観点から逆行しているのではないか。
- 高潮警報時の防潮ゲートや土のう対応はどうなる。本庁へ集約されると間に合わないのでは。
- 削減したお金で「ふれあい号」の運行回数を増やすなどしてほしい。
- 土木委員のなり手が不足している。土木委員関係の窓口は支所に残してほしい。

い。

● 不燃ごみの直接搬入受付の際に、書類を提出する手間を省いてほしい。

● ワンストップサービスを目指し、職員を育成してほしい。

● 交付税減額が理由だが、本庁・支所の見直しだけでやれるか。

● 草刈機借上料を減らすようなことはやめてほしい。

市議会に対するご意見

● 開催会場出身の議員は欠席しないほしい。

● 当選後も公約の達成度や結果をきちんと報告してほしい。

● 高齢者世帯に議会報告もかねて声掛けをしてほしい。

● モラルの低い議員がいる。毅然とした態度で注意できないか。

● 都市計画調査特別委員会の活躍を期待している。都市計画再編のスケジュールをできるだけ短縮してほしい。

● 女性議員が一人もいない。女性議員の進出を希望する。

● 議会として市政に関する具体的なテーマを設け取り組んでほしい。

会場で実施したアンケートの結果(15ページに一部掲載)や報告会での質疑応答の詳細は市議会ホームページに掲載しています。

～地方交付税減額 依然として厳しい財政状況～

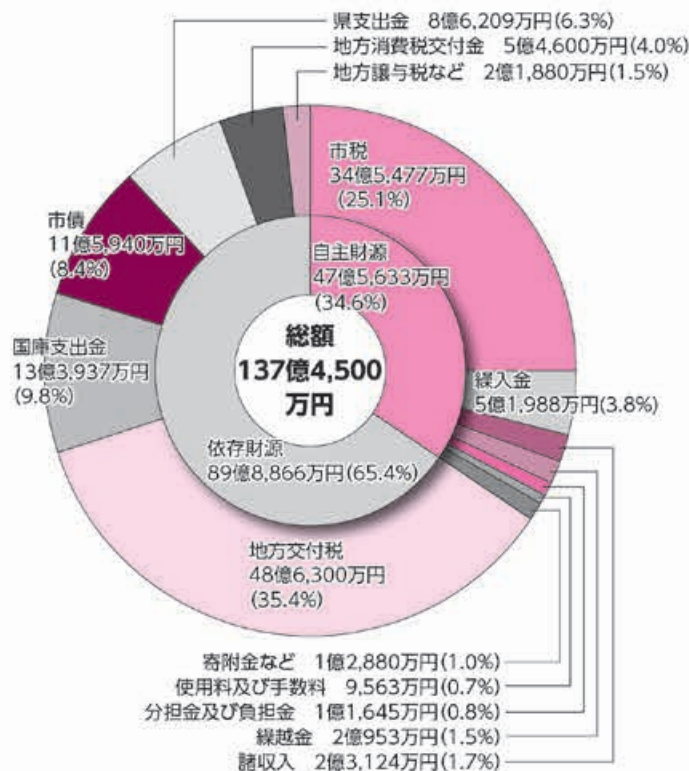
一般会計は前年度当初比8.0%減の137億4500万円、5年ぶりのマイナス編成となりました。

歳入では、市税は1.5%増の34億5477万円を見込む一方、合併後10年が経過し、普通交付税の特例措置の縮減が2年目を迎えたことなどから地方交付税は前年度比6.3%（3億2700万円）減の48億6300万円を見込んでいます。また、市債は32.2%減の11億5940万円、財政調整基金を4億2800万円取り崩しています。依存財源は65.4%と依然高い水準となっており、厳しい財政状況となっています。

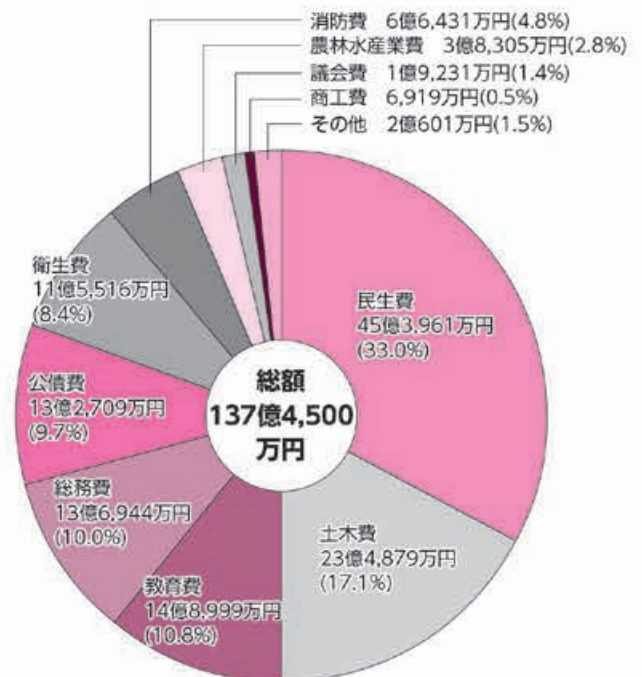
歳出では、発達障害者とその家族の居場所作り整備や、病児保育の近隣市町での利用開始、小中学校の電子黒板の設置など、子育て支援や教育環境の充実に積極的に配分されています。

また、アジア最大級の口径3.8m反射望遠鏡を備える新天文台の完成に合わせ、「天文のまち あさくち」をPRするため、天文博物館リニューアル記念事業の実施や無線LAN(Wi-Fi)を整備します。そのほかハード面では、JR金光駅周辺整備事業や中央公民館耐震改修工事などが実施されます。

一般会計歳入



一般会計歳出



※金額は1万円未満切捨てのため、合計が一致していません。

平成29年度当初予算を可決 一般会計総額137億4,500万円

(前年度比-8.0%)

Pick Up! 今年の予算の使いみち (主な新規・主要事業)

	事業名	事業の概要	予算額
総務費	ふるさと納税事業	地域特産品のPRや歳入確保につなげる「ふるさと納税」事業費。寄附金は1億円を見込む	6,512万円
	地域おこし協力隊事業	コミュニティ活動支援や地域資源の発掘・情報発信を行う「地域おこし協力隊員」を2名から4名に増員	1,627万円
民生費	病児保育事業負担金	病児保育を実施している他市町医療機関を広域利用するための負担金	8万円
	発達障害者支援施設整備事業	発達障害者やその家族の居場所として、寄島老人福祉センターの改修、整備を実施	700万円
商工費	観光施設整備事業	岡山天文博物館などにWi-Fi環境を整備	372万円
土木費	空家等対策計画策定事業	空き家対策を総合的、計画的に推進するための計画を策定	716万円
	金光駅周辺整備事業	金光駅南口広場等の整備	3億1,619万円
教育費	学力向上No.1プロジェクト事業	児童・生徒の学力向上のため、学力向上支援員等の配置や、電子黒板を設置	1,824万円
	岡山天文博物館リニューアル記念事業	「天文のまち あさくち」をPRするため、博物館の大規模改修後に記念式典を実施	85万円
	中央公民館耐震改修事業	中央公民館の耐震改修	2億6,175万円

特別会計・企業会計

会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	51億1,819万円	-4.1%
後期高齢者医療	5億4,930万円	-1.5%
住宅新築資金等貸付事業	261万円	-8.9%
介護保険	38億6,455万円	+7.0%
公共下水道事業	21億1,754万円	-1.3%
畑地かんがい給水事業	1,034万円	+13.8%
益坂財産区	706万円	+3.0%
工業団地開発事業	5,317万円	-88.6%
水道事業	9億7,568万円	-9.8%

水道事業会計の討論

○反対 大西恒夫

赤字続きの予算で夢がない。収入増と経費節減のためには岡山県西南水道企業団からの給水にすべき。夢を持たない暗い予算に反対。

○賛成 香取良勝

金光地区の受水先の件は、議会では協議が終了していること。何回も発言を繰り返すべきではない。執行部提案に賛成。

岡山天文博物館大規模改修 「天文のまち あさくち」 を全国にPR

平成28年度
補正予算



まちのシンボル 天文台

○**一般会計** 補正額△2,213万円 補正後総額155億9,386万円（対前年同期比+2.6%）

歳出の主なもの

事業名	事業の概要	補正額
地方創生拠点整備事業	地方創生に向けた国の交付金等を活用し、岡山天文博物館の改修工事及びPR活動を実施する	1億9,538万円
臨時福祉給付金給付事業	消費税率の引き上げの影響を緩和するため、低所得者に対し臨時福祉給付金を支給する	1億362万円
学校トイレ施設改修事業	金光小学校のトイレの洋式化を実施する	3,800万円
医療扶助費	生活保護者に対する医療扶助費の不足分	1,253万円

○**特別会計**

会計名	主な内容	補正額
国民健康保険	保険給付費の減など	△2億893万円
後期高齢者医療	後期高齢者医療広域連合納付金の減など	△1,808万円
住宅新築資金等貸付事業	貸付金元利収入の増	682万円
介護保険	地域支援事業費の減	△104万円
公共下水道事業	公共下水道調査費の減など	△1,250万円
益坂財産区	基金積立金の増	27万円
工業団地開発事業	浅口工業団地開発事業費の減	△3,000万円

	現行				改正後(平成29年7月から)			
		1回	回数券 (11回綴)			1回	回数券 (11回綴)	
浴場	市民	一般	200円	2000円	市民	一般	300円	3000円
		高齢者	100円	1000円	市民	高齢者	150円	1500円
	市外	300円	3000円	市外	400円	4000円		
トレーニングルーム	市民	一般	200円	2000円	市民	一般	300円	3000円
		高齢者	無料	無料	市民	高齢者	100円	1000円
	市外	600円	6000円	市外	700円	7000円		

※65歳以上の証明書所持者を高齢者とします。

主な議案

条例

健康福祉センター浴場・

トレーニングルーム使用料を見直し

○健康福祉センター条例の一部改正

【原案可決】

健康福祉センターの浴場、トレーニングルームの使用料を値上げするもの。小学生以下の子どもの浴場使用料と市内在住の障害者の使用料は変更しません。

空家対策に向けて

○空家等対策協議会条例の制定

【原案可決】

空家等対策計画の作成、実施などに関する協議を行うため、空家等対策協議会を設置するもの。



市長等の給料 10%削減を延長

○特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正

【原案可決】

市長・副市長・教育長の給料の1割



トレーニングルーム

削減を引き続き平成30年3月まで延長するもの。

選挙費用の公費負担増額

○議会の議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正

【原案可決】

消費税増税を踏まえ、本市の選挙運動に係る公費負担の限度額を国と同水準に引き上げるもの。

放課後児童クラブの対象を拡大

○放課後児童健全育成施設条例の一部改正

【原案可決】

放課後児童クラブの対象を「小学校低学年児童等」から「小学校就学児童」に範囲を拡大するものなど。



放課後児童クラブ

軽自動車税 環境性能割を導入

○市税条例の一部改正

【原案可決】

税法の改正により、個人市民税の住宅借入金等特別税額控除の適用期限の延長、法人市民税の税率引き下げ、軽自動車税の環境性能割の創設などの改正を行うもの。

計画

浅口市の将来像は「キラリと光る

未来そうぞうワクワク都市」

○第2次浅口市総合計画基本構想及び前期基本計画の策定

【原案可決】

浅口市の最上位計画で平成29年度から10年間の行政運営の指針となるもの。基本構想では、平成38年度の目標人口を3万1000人と設定し、まちの姿と市民生活の将来像を「キラリと光る未来そうぞうワクワク都市」として描いています。基本計画では基本構想の実現に向けた施策を体系的に示しています。



夢のある輝くまちへ

人事

新教育委員決まる

○教育委員の任命同意 **【同意】**

佐藤賢次さんを教育委員に任命することに同意しました。任期は平成29年5月から4年間。



佐藤賢次さん

○人権擁護委員の推薦意見 **【適任】**

奥村貴子さん、友田陽勝さん、大岸勇人さん、鈴木雅次さんを入権擁護委員として適任としました。任期は平成29年7月から3年間。

請願・陳情

○「地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める」請願書 **【採択】**

提出者 岡山県医療労働組合連合会
紹介議員 桑野和夫

○安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願書 **【採択】**

提出者 岡山県医療労働組合連合会
紹介議員 桑野和夫

○日本政府に「核兵器禁止条約の交渉会議参加と、条約実現に努力することを求める」意見書採択を求める陳情 **【採択】**

提出者 原水爆禁止岡山県協議会

採択した請願・陳情は、関係機関に意見書を送付しました。

報告

○岡山県西部環境整備施設組合議会の人事

笠岡市、里庄町と共同で可燃ごみ処理を行う西部環境整備施設組合の議会の副議長に平田襄二議員が選出されました。



平田襄二

委員会レポート

第2次総合計画に議会の意見を

市政運営の最上位計画である総合計画の素案について、12月開催の常任委員会で見解を出しました。2月開催の委員会では、パブリックコメントも含め修正が行われた最終案の説明があり、各委員会からの意見も反映されました。

総務文教 常任委員会

○2月15日

総合計画への意見

遊び、交流の場として身近な公園が少ないと感じる。「既存の公園の整備」としているが、新しい公園の整備はしないのか。

答 新規の公園は必要に応じて検討していく。

学校給食センターを視察

供用開始から1年が経過したことなどから、今後の委員会審査の参考とするため、学校給食センターを視察し、給食を試食しました。

担当職員から、「安心・安全で、子どもたちが楽しみにしてくれているおいしい学校給食を提供するため、職員一同引き続き職務に励んでいきたい」との説明がありました。



給食を試食

民生 常任委員会

○2月16日

総合計画への意見

国民健康保険制度の広域化との整合性はどうか。広域化された場合の国保税についても詳細な記載がない。

答 平成30年度に予定されている広域化について、今後も安定的な運営が求められている。その旨を加筆修正する。

産業建設 常任委員会

○2月17日

総合計画への意見

下水道の目標値はあるが水道の目標値がない。平成29年度から取り組むとされている老朽管等の更新等について目標値が必要。

答 上水道の老朽化施設の耐震化・更新については、平成29年度中に中長期的な計画を策定するため、加筆する。

議案に対する賛否

本定例会で審議した議案に対する各議員の賛否は次のとおりです。

〔○〕賛成、〔×〕賛成でない、〔-〕不参加、〔欠〕欠席

議案名	議員名	会派名		浅政会					経世想話会			政和会		無党派			議決結果	
		中西美治 (議長)	平田襄二	大西洋平	田口桂一郎	柚木毅	伊澤誠	竹本幸久	大西恒夫	青木光朗	加藤淳二	福田玄	井上邦男	藤澤健	香取良勝	桑野和夫		岡邊正継
発議第1号	「地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める」意見書																	原案可決
発議第2号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書																	原案可決
発議第3号	核兵器禁止条約の交渉会議参加と条約実現に努力することを求める意見書																	原案可決
承認第1号	専決処分した事件の承認(和解及び損害賠償額の決定)																	承認
同意第1号	教育委員会委員の任命同意																	同意
議案第1号	空家等対策協議会条例の制定																	原案可決
議案第2号	個人情報保護条例及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正																	原案可決
議案第3号	防災行政無線施設条例及び公園・体育施設条例の一部改正																	原案可決
議案第4号	憩いの広場条例の一部改正																	原案可決
議案第5号	議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例及び議会の議員及び長の選挙における選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部改正																	原案可決
議案第6号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正																	原案可決
議案第7号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正																	原案可決
議案第8号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正																	原案可決
議案第9号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正																	原案可決
議案第10号	税条例の一部改正																	原案可決
議案第11号	健康福祉センター条例の一部改正																	原案可決
議案第12号	金光ボランティアセンター条例を廃止する条例																	原案可決
議案第13号	放課後児童健全育成施設条例の一部改正																	原案可決
議案第14号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正																	原案可決
議案第15号	相互救済事業の委託																	原案可決
議案第16号	平成28年度一般会計補正予算(第4号)																	原案可決
議案第17号	平成28年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)																	原案可決
議案第18号	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)																	原案可決
議案第19号	平成28年度住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)																	原案可決
議案第20号	平成28年度介護保険特別会計補正予算(第3号)																	原案可決
議案第21号	平成28年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)																	原案可決
議案第22号	平成28年度益坂財産区特別会計補正予算(第1号)																	原案可決
議案第23号	平成28年度工業団地開発事業特別会計補正予算(第2号)																	原案可決
議案第24号	平成29年度一般会計予算																	原案可決
議案第25号	平成29年度国民健康保険特別会計予算																	原案可決
議案第26号	平成29年度後期高齢者医療特別会計予算																	原案可決
議案第27号	平成29年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算																	原案可決
議案第28号	平成29年度介護保険特別会計予算																	原案可決
議案第29号	平成29年度公共下水道事業特別会計予算																	原案可決
議案第30号	平成29年度畑地かんがい給水事業特別会計予算																	原案可決
議案第31号	平成29年度益坂財産区特別会計予算																	原案可決
議案第32号	平成29年度工業団地開発事業特別会計予算																	原案可決
議案第33号	平成29年度水道事業会計予算																	原案可決
議案第34号	市道路線の認定																	原案可決
議案第35号	市道路線の変更																	原案可決
議案第36号	第2次総合計画基本構想及び前期基本計画の策定																	原案可決
議案第37号	介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正																	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦意見																	適任
請願第9号	「地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める」請願書																	採択
請願第10号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願書																	採択
陳情第10号	日本政府に「核兵器禁止条約の交渉会議参加と、条約実現に努力することを求める」意見書採択を求める陳情																	採択

*議長は採決に加わりません。

一般質問

市政を問う!

議員が市政全般に関して、執行機関（市長や教育委員会）にその執行の状況や将来の方針、市民生活に係わる事項等について質問をすることを一般質問といいます。

3月定例会では3会派の代表と6人の議員が市政を質しました。

なお、会議録はホームページで閲覧できます。（3月定例会は5月中に掲載します。）

	質問者	質問項目	ページ	
代表質問	浅政会 平田 襄二	○民生委員のなり手不足解消を ○都市計画道路川手鴻之巣線はどうなる	11	
	経世懇話会 大西 恒夫	○合併特例債の現状は ○一部事務組合の現状と今後の展望・水道会計は		
	政和会 井上 邦男	○健康診断の内容充実を	12	
個人質問	香取 良勝	○税務署の職務に市職員を使うな ○市営バス ふれあい号を有料に ○トレーニングルームの使用料を適正に		
	柚木 毅	○消防団員確保と支援充実を ○防災対策に向けた検討結果は ○晴れの国おかやま検定の浅口版を実施しては		13
	佐藤 正人	○発達障害児と保護者への早期支援策を ○発達支援システムを構築しては		
	桑野 和夫	○高齢化社会の地域づくりは ○市の財政状況の見通しは ○非正規職員の待遇改善を		14
福田 玄	○市政へ市民の参画を ○行財政改革の方向性は ○浅口市独自の病児保育の実施を			
	伊澤 誠	○三世代同居にリフォーム助成を ○通級指導教室の充実を ○消防団の組織強化と支援の充実を ○観光振興へ物産館の開設を	15	

市政を問う！



浅政会
平田 襄二

質問項目

- 民生委員のなり手不足解消を
- 都市計画道路川手鴻之巣線はどのような

民生委員のなり手不足解消を

問 民生委員が欠員状態となっており、市内各所で選任に苦慮している。また、担当世帯数もバラつきがあり、不公平感がある。担当区域の再編や福祉委員との連携強化により負担を軽減し、なり手不足の解消を目指しては。

答 定数を地域の実情に合わせて対応するよう市長会を通じ県に要望した。福祉委員とのさらなる連携強化など、活動しやすい環境整備の推進に今後も努めたい。

川手鴻之巣線の早期完成を

問 国道2号から南の区間は開通予定が1年以上遅れている。その理由と開通の見込みは。

答 道路用地の取得が長引いたと聞いている。開通時期は未定。早期完成に向けて引き続き事業に協力していきたい。



市の中心を通る川手鴻之巣線

問 国道2号から北の区間は地元同意の上、平成20年8月に都市計画決定されているが、未着手。この道路は浅口市の背骨で、寄島地域の振興、浅口工業団地にとつてどうしても必要なもの。早期に事業着手し、取り組むべきでは。

答 現在、事業主体も含め、実施の予定は全く定まっていない。莫大な費用と期間、地域の同意も必要。経済情勢や市の財政状況などさまざまな状況が変化している中で、事業の実施については適切な時期を見極めて判断すべきと考えており、積極的に県に陳情していく。



経世懇話会
大西 恒夫

質問項目

- 合併特例債の現状は
- 一部事務組合の現状と今後の展望・水道会計は

合併特例債 利用実績は

問 合併特例債の利用期限は。平成28年度末までの使用額、利用可能な残額はいくらかあるか。

答 平成32年度まで利用でき、国の算定式による建設事業等発行可能額は163億5130万円。平成28年度末までの発行見込み額は58億8450万円。利用可能残額は104億6680万円。

広域行政の今後の展望は

問 常備消防組織について、金光町域は倉敷市に委託、鴨方町と笠岡地区消防組合を組織している。災害発生時にトラブルはないか。笠岡消防組合に統一すべきと考えるか。

答 合併以来、救急・消防活動でトラブルはない。笠岡地区消防組合への一元化は事務レベルで検討してきた。県の広域化の動

向も注視しながら検討を重ねている。

厳しい水道会計 今後はどうする

問 水道会計の5年後の見通しは。給水人口の推移、収支の増減、持続可能性の観点でどのように考えているか。水道会計の職員給与を削減したり、給水量、有収率を引き上げるなどして平成29年度は予算を編成している。このままでは1、2年後には値上げが必要となるのではないか。

答 過去5年は平均年2800万円弱の純損失。人口減少による料金収入減や老朽管更新費用の増加など、厳しい経営状況が続くと予想する。合併時に一番低い料金に決定した経緯により厳しい財政状況。できるだけ経費を削減し、有収率を上げる等の経営努力をしていこうと予算を組んだ。値上げは将来的には考えなければならぬが、2、3年で値上げするつもりはない。



政和会
井上 邦男

質問項目

- 健康診断の内容充実を

市民の命を守る 健康診断の充実を

問 市の健康診断の内容が以前と変わっているが、どう変更したか。

答 合併後に腹部超音波検査を取りやめた。特定検診の導入で心電図検査は医師の判断による実施に、骨粗しょう症検診は検診車の老朽化によりレントゲンが撮れなくなった。

問 文化的な生活を健康で長く過ごすため、また高齢化で膨らむ医療費の公費負担抑制には、健康診断の受診が必要だが、本市の受診率は低い。受診率をあげるには健康診断の内容充実が必要である。

答 受診意欲高揚のため、健診受診などでためたポイントで特典が受けられる健康ポイント制度を導入したい。

問 里庄町では腹部と乳がんの超音波検診、骨粗しょう症検診、

胃がんABC検診など本市にない項目が多い。浅口市も充実しては。

答 国の基本計画をもとに浅口医師会と相談しながら実施している。健診の効果及び財政面等も含め検討したい。

問 すい臓がんは早期発見が非常に難しく、知人もそのため亡くなった。すい臓検診、胃、大腸の内視鏡検診を実施しては。

答 胃、大腸のカメラ検査は現在医療機関しか実施できない。すい臓がんは確かな検診方法が確立されていない。新しい検査方法等の情報収集に努めたい。

問 鏡野町では29年度から65歳以上のインフルエンザ・肺炎球菌予防接種費用と各種がん検診（肺・大腸・胃・子宮頸部・乳・前立腺）を無償化すると報道があった。本市も検討しては。

答 予防接種やがん検診は市が7割助成している。財政状況を考え、慎重に検討したい。



香取 良勝

質問項目

- 税務署の職務に市職員を使うな
- 市営バス ふれあい号を有料に
- トレーニングルームの使用料を適正に

国の業務に市職員を使うな

問 税務官が毎年確定申告の国の業務に浅口市の職員を従事させ、職員は遅くまで残業している。岡山市、倉敷市の職員は一切税務署の業務に関わっていない。何人の職員が関わっているか。人件費はいくらかかっているか。市民の血税を使うべきではない。

答 1日平均13人が携わっている。平成27年度の時間外手当支給実績は他の業務も含め約195万円。市民の利便性を第一に考慮しなければならない。

市営バスふれあい号を有料に

問 7年で約1億円かけて市営バスふれあい号を無料で運行し続けている。同じ人ばかりがずっと利用している。乗らない市民の税金を投入している。税の公平性、受益者負担の観点から有料にすべきだ。他市ではタクシー

チケットを配布するなどしている自治体もある。見直すべきだ。
答 有償にすると事務量が増え、ルート変更にかかる等、デメリットが多くなる。高齢者にやさしい街づくりに向け、一層発展させていきたい。

トレーニングルームの使用料を適正に

問 健康福祉センターのトレーニングルームも毎日同じ人が占拠して使えないと利用者から苦情が出ていると以前質問した。65歳以上を無料から100円に値上げするが、不十分。500円徴収しても多くの市民が利用している市もある。収入が増えれば新しいマシンも増設できる。税の公平性からもっと値上げすべきだ。

答 今回の改正内容は、健康増進施策の受益者負担割合として適正と考える。

市政を問う！



袖木 毅

質問項目

- 消防団員確保と支援充実を
- 防災対策に向けた検討結果は
- 晴れの国おかやま検定の浅口版を実施しては

消防団活動の支援策充実を

問 消防団員の減少と平均年齢の上昇が課題となっている。消防団退団者を準団員として活動できるような制度を作っては。

答 団員数は定数940人に対して917人と一定数を維持しているため、現時点で導入は考えていない。

問 消防団活動へ協力する事業所へ表示証を交付する「消防団協力事業所表示制度」について、今後どのように取り組むか。

答 協力いただける事業所を認定し、表示証の交付を行う予定。今後は市広報誌やホームページ等によりPRしていきたい。

安全・安心のまちづくりは

問 これまで防災関連の質問をしてきたが、その検討結果を尋ねる。自主防災組織の結成状況とその推進は。連携強化のための協議会立ち上げは検討したか。

答 現在、市内で50団体の自主防災組織が設立されている。市長自ら地域の総会等で自主防災組織の設立の呼びかけをしている。協議会は地域の防災力向上に大変有効であり、今後、設立状況を勘案し検討したい。

晴れの国おかやま検定浅口版の実施を

問 地域への愛着と誇りを醸成するために市内中高生を対象に、県が実施している「晴れの国おかやま検定」の浅口版を実施してはどうか。定住促進につながると考える。

答 新たに行うことは経費及び効果の面で困難。郷土愛を育む目的で、市内の小学校では「ふるさと学習」などを、中学校では総合学習で郷土の歴史、文化、産業などを学んでいる。



佐藤 正人

質問項目

- 発達障害児と保護者への早期支援策を
- 発達支援システムを構築しては

発達障害児への早期支援策を

問 本市の発達障害児の実態と支援策は。

答 乳幼児健診で発達が気になる保護者の相談件数は年々増加している。支援策として、障害児が自宅から施設に通ってサービスを受ける障害児通所支援や、障害者の日中の活動を確保し家族の一時的な休息を目的とした日中一時支援などがある。

問 平成29年度新規事業の「発達障害者支援施設整備事業」の内容は。

答 発達が気になる子どもと保護者を対象に仲間づくりや情報共有ができる場所を提供するもの。寄島老人福祉センターを改修し、週二回開設。発達障害支援コーディネーターを配置する。

問 相談から療育までワンストップで対応できる施設の整備としては。

答 ワンストップ対応施設に「おかやま発達障害者支援センター」がある。市では保健師と連携して相談に応じ、サービスマスターが提供する。事業者の情報提供やサービスの利用を勧めたりしている。現在の支援体制を充実し、支援に取り組みたい。

発達支援システムの構築を

問 発達に支援が必要な子供と保護者を対象に関係機関が相互に連携し、乳幼児期から就労期まで一貫した総合支援を提供する「発達支援システム」を取り入れてはどうか。本市も取り組んで。

答 市では保健・福祉・教育・労務の関係各所が連携して取り組んでいる。今後も総合的かつ計画的に推進し、障害者福祉の充実に努めたい。



桑野 和夫

質問項目

- 高齢化社会の地域づくりは
- 市の財政状況の見通しは
- 非正規職員の待遇改善を

地域づくりに対する支援充実を

問 高齢化社会を迎え、役員の手が足りないなど困難を抱え、崩壊の危機を迎えている地域もある。行政と地域の役割を見直してほしい。後継者不足に対する支援策を検討しているか。企業と協力し退職者へアピールすることも検討しては。草刈機借上料、敬老会補助金の減額は地域にとって痛手。地域への財政的支援を削減せず、充実してほしい。

答 地域と行政がそれぞれ担うべき役割を明確にし、地域人材の育成等にも力を入れながら地域づくりを支援していく。コミュニティと企業との交流も検討していきたい。時代にあった地域づくりの目標の一つに「協議会型住民自治組織」の設立を掲げた。地域の実情に即した効果的、効率的な支援に向け総合的に検討していく。

市の財政状況は

問 地方交付税の縮減を過度に強調し、市民を萎縮させないでほしい。財務指標等でも健全な財政であり、財政調整基金も約54億円を積み立てている。行政の効率化や大型事業の見直しを最優先にし、徹底的に無駄を省く努力をしてほしい。

答 おおむね健全な数値を維持できているが、地方交付税の減額等により、今後の見直しは一層厳しい。行財政改革を進めるには職員の意識改革とともに市民の意識改革も重要。市民に行財政の課題や状況を伝える必要がある。平成29年度を「行革実行元年」として改革に取り組み。次代を担う子どもたちへの投資や高齢者福祉を進め、持続可能な財政運営に努めたい。



福田 玄

質問項目

- 市政へ市民の参画を
- 行財政改革の方向性は
- 浅口市独自の病児保育の実施を

行財政改革へ民間委託の検討は

問 地方公共団体の歳出効率化を推進するため、民間委託や指定管理者制度の導入、集約化、情報システムのクラウド化を地方交付税の基準財政需要額に反映する「トップランナー方式」の取り組みを総務省は推進している。本市の取り組み状況は。

答 一般ごみ収集、学校給食の運搬等は全部委託、道路維持補修等は一部委託。施設管理では藤波池キャンプ場バンガローのみ指定管理者制度を導入し、その他は正規・臨時職員、一部委託で対応している。情報システムは平成23年度に単独クラウド化している。

窓口業務のワンストップ化を

問 本庁・総合支所の統廃合が段階的に進められていくなか、複数の業務を一つの窓口で対応する窓口業務のワンストップ化及

びアウトソーシングを検討すべきと考えるが、市の見解は。

答 質の高い市民サービス提供のため、窓口業務のワンストップ化やアウトソーシングの活用はすでに研究しており、本庁、支所の見直しの中で検討していきたい。

市独自の病児保育の実施を

問 平成29年度に病児保育の広域実施をするが、概要は。市内で働く方のために市独自の病児保育整備を検討しては。

答 県下10市7町が協定を結び、14施設を相互に利用できる。近隣では、玉島、笠岡、水島などの実施医療機関で診察を受け、病気の急変が見込まれない場合に子どもを預けることができ、料金は一日2500円程度。市独自の病児保育施設の整備は、施設、人員、財源の面から非常に困難な状況。

市政を問う！



伊澤 誠

質問項目

- 三世同居にリフォーム助成を
- 通級指導教室の充実を
- 消防団の組織強化と支援の充実を
- 観光振興へ物産館の開設を

通級指導教室の充実を

問 障害の多様化に対応した、障害のある児童への教育にどう取り組みでいるか。

答 文部科学省は29年度から教員の配置を今より手厚くする方針との報道があるので状況を把握したい。通級指導は保護者の協力も不可欠なので、通級指導教室設置のニーズの把握や指導者の養成、施設の整備など様々な観点から検討の必要がある。

消防団員の定年制はどうする

問 消防団の定員確保に定年制の年齢引き上げや定年制度を廃止した自治体もある。今後団員確保が困難になると考えられるが本市でも検討しては。

答 条例で原則55歳未満としているが、現在、一定の団員数を確保できている。定年年齢引き上げや制度の廃止は具体的な予定はないが、消防団と協議し、近

隣の状況を勘案しながら組織強化と安全な消防活動のため支援と充実に取り組みたい。

観光振興へ物産館の開設を

問 新天文台という新たな観光資源ができるが豊富な地場物産を販売する所がない。物産館を開設しては。

答 27年度から土産品を開発しているが販路の確保やPRが課題と認識している。浅口商工会がブランド認定商品を市内スーパーに展示や販売コーナーを設置するなど民間事業者で取り組みが行われている。天文台にちなんだ酒の開発も準備している。市が新たに物産館等を設置することは困難。機会を捉え積極的に情報発信したい。

平成28年度議会報告会 アンケート結果

(回答者数 58名)

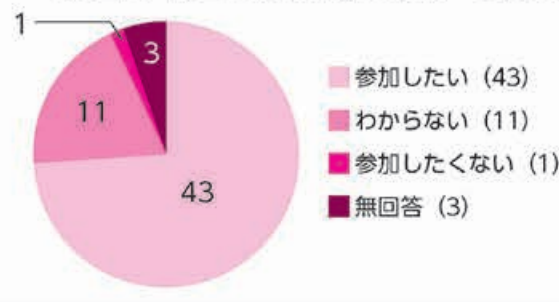
報告内容について



今回の報告会について



次回の報告会に参加したいですか



報告会の感想 (一部)

- ・ 地元の議員が欠席していたのはさみしい
- ・ 質問者が少ないのが残念。全体の参加者も少ない
- ・ 毎年続けて欲しい
- ・ 市民へのPRが必要
- ・ 視覚に訴える図解資料があればより分かりやすい
- ・ 議論が乏しすぎる。もっとある
- ・ 詳しい話が聞けてよかった
- ・ 政務活動費の透明性、それにより得たものの報告があればよかった
- ・ 寄島・金光の方のサービスが低下しないようお願いします
- ・ 政務活動費は思った以上に正しく活用していました
- ・ 分かりやすい説明をしてください
- ・ 防災機能の低下につながらない支所のあり方の検討を

学び・知り、市政へ生かす — 視察研修 —

総務文教常任委員会

○研修日 1月31日、2月1日
市民が主役のまちづくりを

○徳島県鳴門市

鳴門市は平成23年に自治基本条例を制定し、「市民が主役のまちづくり」を推し進めています。その根幹をなす組織が、市内14地区（原則地区社協単位）にある「地区自治振興会」で、地区内の町人会、婦人会や老人会などの各種団体が連携し、様々なイベントや事業を実施しています。また、町内



鳴門市長から説明を聞く

会への加入促進を図るため、宅建協会と地区自治振興連合会、市の三者で協定を締結し、啓発活動を行っています。浅口市では「協議会型住民自治組織」を平成33年度までに5団体設立することを計画しており、今後の議会審議の参考となる研修となりました。

市の強みを全国にPR 「シティ・プロモーション」

○兵庫県南あわじ市

南あわじ市では、地域特産品の知名度向上や国内外からの交流人口の増加を促し地域活性化につなげるため、シティ・プロモーションを積極的に実施しています。地方創生交付金を活用し、大手広告代理店と協力し、センサーショナルなプロモーションを立ち上げ、ウェブ上での注目度・拡散性を狙った手法を採用し、斬新な企画を用いたPRを実施されています。本市では「天文のまち」をテーマに様々なPRが予定されています。南あわじ市のターゲットを絞った効果的な情報発信や報道機関への周知方法はとても参考にまりました。

ご意見・ご感想をお聞かせください！

広報特別委員会では、読みやすく親しみやすい広報づくりに取り組んでいます。

率直なご意見・ご感想をお待ちしています。

あて先 浅口市議会事務局

〒719-0295 浅口市鴨方町六条院中3050
TEL:0865-44-7010 FAX:0865-44-7009
E-mail gikai@city.asakuchi.lg.jp

傍聴へお越しく下さい！

傍聴は議会活動にふれることのできる最も身近な方法です。議員の活動や市政の方針が決まる過程をぜひご覧ください。

次回6月定例会は5月30日に開会する予定です。

日程の詳細は5月下旬に議会運営委員会で決定されます。ホームページ等でご確認ください。

声の議会だより

目の不自由な方にも議会の内容をお知らせするため、浅口はるか会のご協力により議会だよりを音読しています。

表紙写真

アジア最大級となる口径3.8m反射望遠鏡を備える新天文台ドームが竹林寺山に姿を現しました。旧天文台ドームと並び立ちは新たなまちのシンボルです。

今後、望遠鏡の搬入、各種調整と観測装置の開発などがあり、公開はまだ先になりそうですが、市民の大きな期待が寄せられています。

広報特別委員会

委員長 平田襄二
副委員長 伊澤 誠
委員 福田 玄 佐藤正人
桑野和夫 中西美治
大西恒夫 大西洋平



議会だよりは再生紙を使用しています

